

おしゃりん 1月

新年号

歳末助けあい募金助成金事業
2018年沖脊協新春交流会

◎特集

新年会かいたべましたー 1p

会員さんお宅訪問記「山城保和さん」 2p

困った！ 障害者用駐車スペースの不適正利用の実態
パリアフリースポット んみゃーんち 4p

3p

会員投稿 上間智也さん 5p

調べてみました セルフスタンドって
車イスユーザーは使える？ 6p

第19回 ウイルチエアララグビー
日本選手権大会2年連続優勝 7p

お知らせ 受講者募集 ピアサポーター養成講座 7p

サンシャインゆいまゝる寄贈 7p

編集後記 7p



新年会 かに たべましたー!



1月20日(土)、ヒルトン北谷にて2018年初の沖脊協イベントを開催しました。

17時から受付開始して、当日は会員をはじめ家族の方々とITサポートおきなわのスタッフを合わせ、40名近くが参加しました。料金は一人税込4,050円のところ「歳末助け合い共同募金助成」により、1,500円という価格の安さでした。会場は3階SURIYUNの約45席を貸し切り、料理はバイキング形式。蒸しズワイカニをはじめ、ジンギスカンやポイルドチキンや寿司など、またデザートの種類も豊富でした。その中でも蒸しズワイカニが大人気で、食べるのに集中して一時無口になっている方もいました。新年会当日は理事長の仲根さんが神奈川に急遽出張のため不参

加になりましたが、理事や職員で新年会を取り仕切りました。伊波秀樹理事が司会進行し、砂川昭人理事の開会挨拶でスタート。

会員やその家族の皆さん、ITサポートおきなわスタッフとの食事と交流を、しばらくの間楽しみました。途中、新たな会員3名の自己紹介がありました。閉会の挨拶を小嶋晴樹理事が最後に締めくくり、記念撮影した後、平成29年度の新年会は閉会致しました。

今年度は昨年度に比べ参加人数も少なめでしたが、内容をビンゴ大会などのゲームを止めて会員同士の交流に重点的を置きました。来年度は更においしい料理を提供している場所を探し、内容の充実、会員が参加しやすい新年会にしたいと思います。(宮里)



新年会の様子



美味しいカニと料理に会話も弾みます

R.C.Y.
Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック
やまぐち

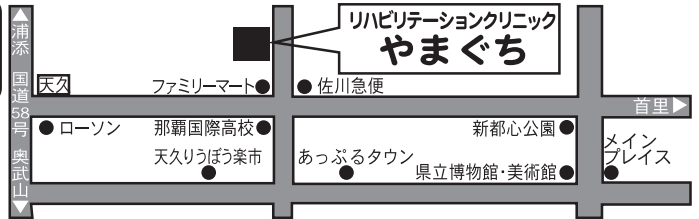
〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

診療スタッフ

医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月火水木金土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ / ○ ○ /

安らぎ・癒し・元気を提供します。





会員さん
お宅訪問記

「山城 保和さん」

毎号、なんとか会員さんの自宅にお邪魔してお話を聞く「お宅訪問記」。第 2 回は山城保和さんのお宅に訪問しました。

山城さんは 20 歳の 1 か月前にとび職の仕事で建築現場作業中に転落によって頸椎損傷に。

救急で運ばれた県立那覇病院を皮切りに、約 10 年を手術やリハビリのために県内 8 箇所の病院を転々と渡り歩きました。当時は立位ができる不全麻痺だったこともあり、リハビリはがんばっていたようです。

特筆的なことは、ハートライフ病院での入院中に、リハビリの一つとして「運転免許取得とした自動車練習場通い」を行い、そのためにハートライフ病院の職員に送迎をしてもらっていたことでした。

「あの時に運転免許取っていなかったら今、仕事はしていなかったと思う」とのこと。

正しく“ターニングポイント”を迎えていました。※現在は対応していないようです。

沖脊協との出会いは、那覇病院時代に荻堂さんに出会ったことがきっかけ。

ちゅうざん病院で岸本政弘さんと会ったり、渡り歩いた先々の病院で脊損メンバーとの出会いはあったようですが、当時はリハビリに没頭していて、ほとんどピアサポートは受けなかったようです。

病院生活後は、車いすツインバスケットボール「沖縄フェニックス」チームに参加しながら、(一般就労ではないが)バイト的に仕事を転々とする生活を送り、一時は沖脊協事務局も担っていました。一般就労を目指しながら車いすツインバスケットもがんばり、

遂には全国優勝を成し遂げた主要メンバーになるなど、徐々に生活の幅が広がって行きました。当時、沖縄フェニックスの敏腕マネージャーだった博代さんと愛を育み、2000年に結婚。その 3 年後には一馬(かずま)君が誕生。現在は 15 歳で高校受験のまっただ中。

山城さんの現在は沖縄電力(那覇支店)に勤めて 17 年。

振り返ってみて、リハビリも仕事も“やると決めたら目標達成するまではがんばる”という信念で過ごしてきた、「多くの仲間と出会い、支えられてきたことが今の自分がある。」としみじみと話してくれました。

今後については、安定的に家族の幸せを最優先にしながら、自身の生きがい探しも考え行動していきたいと最後は締めくくってくれました。

いつもお酒を飲むと酔いつぶれていた保和さんでした(笑)が、今は素朴に幸せな家庭づくりにがんばっているアットホームな山城宅訪問でした。(仲根)



山城保和さん

からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



ご自宅や介護施設まで出張施術します!



病院と同じ健康保険証が使えます!

代表 林 秀一

TEL : 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



フリーダイヤル

0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com H P http://www.ryukyu-chiryoin.com/

困ったもんだ! ~バリアフリーネットワーク会議による実態調査で公開~

障害者用駐車スペースの不適正利用の実態

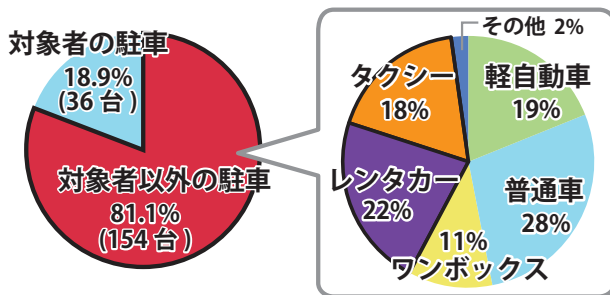
バリアフリー活動においていつも連携させていただいているNPO法人バリアフリーネットワーク会議が、昨年10月に那覇空港とサンエーメインプレイスの2カ所を3日間に渡り調査した内容が、2017年11月25日の沖縄タイムスに載っていました。以下、転載です。

「調査は県内で初めて。身障者専用乗降所を利用した車両のうち、足が不自由な高齢者、妊産婦、乳幼児連れは身障者と同じように利用対象者とみて集計した190台のうち、対象外の利用は154台で**81.1%**。うち22%はレンタカー、18%はタクシーだった。乗降所の利用は短時間のため、心理的な抵抗感が少ないとみられる。

同ターミナル正面のP1駐車場3階にある障がい者専用駐車場（6台分）は同期間、前日からの連続駐車を含め21台の利用があり、うち約4割に当たる9台が対象外だった。

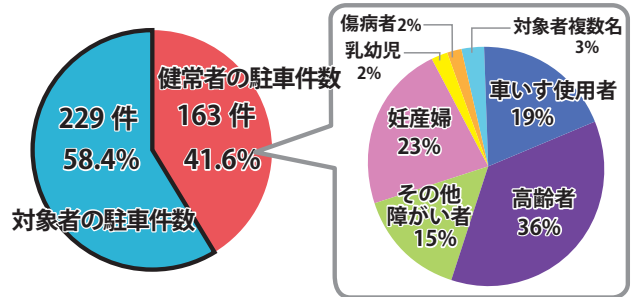
那覇空港の身障者専用乗降所の利用状況

※NPO 法人バリアフリーネットワーク調べ



一方、那覇市内の大型商業施設3階にある専用駐車場（34台分）についても10月13～15日に調査。利用した393台のうち、**42%**に

大型商業施設の身障者専用駐車場の利用状況



当たる163台が対象外だった。同駐車場では警備員を常時1人配置し、買い物用カートの移動を手伝うなどしている。対象外の駐車は調査2日目に激減したといい、警備員と調査員の2人態勢になったために常習者が駐車を諦めた可能性が高いという。

親川代表は「県民一人一人のモラルの問題」とみる。空港は一般用の乗降スペースが不足しているが、身障者用を使っていい理由にはならないと指摘し、適正な利用を求めている。改善策として身障者だけでなく、足の不自由な高齢者、妊産婦なども含めた全県統一の駐車許可証（パーキングパーミット制度）の導入を提案している。」

改めて、取り組んでいただいたネットワーク会議に感謝したいと思います。(仲根)



交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】☎(098) 963-6268

※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。

移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

バリアフリー[♿]スポット んみゃーんち

12月某日、ITサポートおきなわの就労支援移行ランチレクレーションでTHE BOOMの宮沢和史さんがプロデューサーをしている『んみゃーんちSTUDIO&CAFE』に行ってきました。店内はフラットで広々としたテーブル席と座敷席に分かれていて、テーブル席は大きく、車いすが対面でも足元に余裕があります。トイレも引き戸扉のバリアフリーで、中も広々としていて清潔感があり、車いすの切り返しもスムーズでした。

車いす用駐車スペースは、入口に向かって傾斜がついていて、駐車場からそのままスロープとアプローチを通して店に入れます。

お店の軒下回りは、水はけのためか小石が

敷き詰められており、車いす利用者からしたらアプローチ部分だけでもその水はけをなくして欲しいと思いました。

素材にこだわったメニューが充実した隠れ家的なカフェでした。ドライブの途中によるのもいいかと思います。(大城一志)

んみゃーんち STUDIO&COFFEE

沖縄市与儀1丁目29番22号

TEL : 098-923-1382

時間 : 水~月11:00~17:00
(L.O. 16:30)

定休日 : 火曜日

駐車場 : 10台



シーサーの顔が並んだ看板の前で



創作沖縄そば



広々スペースのバリアフリースイール



席も広く車イスも余裕で入ります

ちはる歯科クリニック

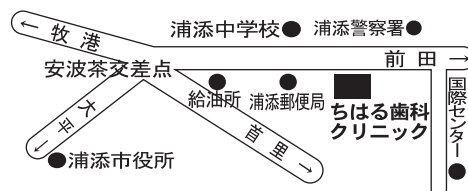
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

会員投稿

上間智也さん

1994年(平成6年)

7月転落事故をおこして胸椎10番を損傷し、下肢麻痺となりました。埼玉県にある朝霞台中央に緊急搬送されました。

意識が戻った時、レントゲン台の上で目が覚め、周りが少し薄暗いのと背中に激痛を感じました。最初は何がなんだか分からずにいましたが、後々分かってきました。

当時は高熱が何日も続き、なかなか下がらずしんどかったのを覚えています。手術も何もすることなく約3か月この病院で過ごしました。医師によると「折れたところが何らかの反動である程度戻っているので支障はなくそのままにした」とのことです。でも今でも触ると痛い。入院3か月の間に褥瘡もできてしまいました。

その後、所沢の国立障害者リハビリテーションセンター(国リハ)に転院しました。しかし褥瘡があるので約4か月はベットの上で、実際のリハビリは2か月ほどで基礎的なことしかやっていません。退院後も数回高熱に見舞われながらもなんとかやっていました。

退院後、同郷の同級生と平成7年7月7日に埼玉で婚姻届けを出しました。埼玉で2年ほど暮らしていました。

1997年4月に沖縄県石川市(当時)に転居して戻ってきました。県内の病院で再度リハビリを!と意気込むも、もうやることはないと言われ、それ以降病院は泌尿器科ぐらいでほとんど家にいることが多くなりました。

翌年、浦添市に転居。ますます家にいるこ

とが多くなりました。2001年に従弟のお兄さんからの勧めで、具志川職業能力開発校に1年通い、製図建築科でCADトレースを学びました。その甲斐あって、建築初級・中級を取ることができました。

翌年3月に学校を修了しましたが就職できず、また家にこもることが多くなりました。このころから食っちゃ寝の生活が加速。2003年に狭心症から心筋梗塞となって、那覇市立病院~豊見城中央でカテーテル手術を受け、無事退院できました。泌尿器科・内科と外来受診が増えてしまいました。

翌年ごろから家の用事などで、浦添市から本部を往復することが多くなり、褥瘡をまた作ってしまいました。治りかけては長距離を繰り返して褥瘡悪化をさせ、ついには2015年に浦添総合で座骨部を削る大手術となり、約2か月の入院となりました。退院後は座ってお風呂に入っていたので傷口が開いてしまいました。そこでケアステーション歩のスタッフ相談員の上里一之さん(会員)に巡り会い、歩に通所することになりました。歩のスタッフの方たちと子供たちに会えたことがすごく楽しく、約1年9か月通いました。

上里さんの紹介で沖脊協の仲根さん達との出会いなどを経て障がい者ITサポートおきなわの就労移行に通うことになりました。パソコンスキルを上げ、そして人間スキルも上げたいです(笑)これまで携わっていただいたスタッフの皆様ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



素敵な笑顔を見せる上間さん



ペンタブを使いこなすトレース中



セルフガソリンスタンドって 車イスユーザーは使える?

最近増えているセルフガソリンスタンド。店舗によっては価格が安くなったり、給油時間を短縮できるなどメリットがありますが、車イスユーザーにとっては車イスの出し入れにも手間がかかりますし、操作パネルに手が届かなかったりと様々な問題があり、利用を避ける方が多いと思います。

なのでフルサービスの「行きつけ」のガソリンスタンドがある車イスユーザーは多いと思いますが、セルフスタンドが増えてきていて“困った”という声が多くなってきました。

しかし、もしも出先でガソリンが足りなくなり、周りにセルフスタンドしかなかったら？そんな「もしも」の時のために、セルフスタンドではどのようなサポートをしてくれるのか、車イスユーザーで会員の荷川取礼子さんと調べてみました！

取材させて頂いたのは、那覇市おもろまちにある「沖縄出光 新都心SS」。実は出光興産は2016年の「障害者差別解消法」を契機に、セルフスタンドでの給油サポートを促進している唯一のガソリンスタンドなんですよー。

マネージャーの藤本さんに協力してもらい、実際に車イスで給油できるか試してみました。やはり操作パネルの位置が高く、インター

フォンはついているものの手が届きません。こんな時は「クラクションを鳴らしてもらおうと分かりやすい」と藤本さん。

車イスユーザーの対応はまだされたことがないという藤本さんですが、「どんな方にも常に対応できるようにしているので、車イスだからできないということはないです。」とのこと。調査員の礼子さんは「一度外出先でガス欠になり、近くにあったセルフスタンドへ行きましたが、車から車イスを降ろすと同時に店員さんが来て給油をしてくれました。マネージャーの藤本さんの、クラクションを鳴らしてもらおうと分かりやすいという話は、車イスユーザーの私達にとって、とてもありがたいし、安全な行動にもなると思います」とコメントを頂きました。

今後このような給油サポートが広がれば、車イスユーザーが今まで躊躇していたセルフスタンドを気軽に利用できるようになるかもしれませんね。

第1回目の「調べてみました！」コーナーですが、どうでしたか？。会員の皆さんから感想、問い合わせ、また「こんなこと調べてほしい」の連絡があるとありがたいです。よろしくお願いします。(ITサポート@マリヤ)



ご協力して頂いた藤本さん(左)



インターフォンに手を伸ばす礼子さん

出光
IDEMITSU

お身体の不自由なお客様へ
スタッフが給油を
サポートいたします。
お気軽にお申しつけください。

出光セルフで給油サポートポスター

第19回 ウィルチェアーラグビー 日本選手権大会2年連続優勝

12月15～17日に千葉県千葉市にあります千葉ポートアリーナで開催されました「第19回 ウィルチェアーラグビー日本選手権大会」に沖縄ハリケーンズが参加し優勝いたしました。ハリケーンズは県出身でパラリンピック4大会連続出場の仲里進選手を中心に、オーストラリア代表でリオパラリンピック金メダリストのマット・ルイス選手を招集し、2年連続4回目の日本一に輝きました。



優勝記念撮影



試合の様子

サンシャインゆいま～る寄贈

ジャンボ・サンシャイングループが運営する「ゆいま～る」寄付の2017年第2クールが終わり、沖脊協への寄贈がありました。「ゆいま～る」は、サンシャイングループの景品所で受け取った投票用紙（シート）を、寄贈を希望する団体へ投票して寄贈額に反映する仕組み。沖脊協が受けた今回の寄贈額は、なんと**137,000**円でした。

みなさまの熱い投票のおかげで助かっています。ありがとうございました！
(砂川)

お知らせ 受講者募集 ピアサポーター養成講座

同じ障がいを持つ同士による相談活動(ピアサポート)を担い手となる「ピアサポーター」の人材育成を目的に開催します。脊髄損傷といっても多様なADL(生活日常動作)や障がい特性が違います。

相談を希望される方に可能な限りその方の脊髄レベルや特性に近い方がピアサポートすることが望ましいことから、受講を呼びかけます。あなたの経験、知識を活かしてみませんか？ピアサポーター活動を通して得られる人との繋がりや社会貢献は必ずや人生に深みを与えたいと思います。

日時：2月19日(月) 13時～17時

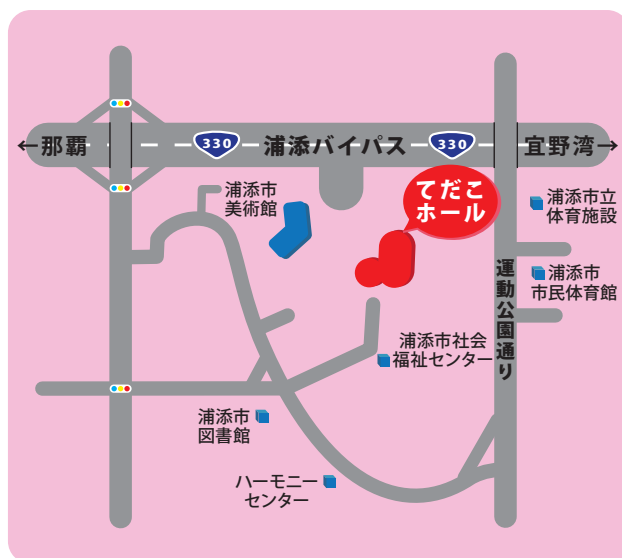
会場：てだこホール 多目的室2

受講料：無料

申込先：TEL 098-961-6715

E-mail office@okisekikyo.com

住所：〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-3



編集後記

本年、最初のしゅりん楽しんで頂けましたでしょうか？

表紙や新年会の記事にはカニの食べ放題でおいしい笑顔の写真に溢れていました。早くも来年が楽しみになりますね!(笑)

今年も更に楽しく、為になる情報を提供できるよう努力して参ります。ご愛読よろしくお祈りします。
(ITサポート@又吉)